



静岡県立伊豆伊東高等学校
Izuito High School

School Guide

学校案内 2025



静岡県立伊豆伊東高等学校は令和5年4月1日に開校した多様性に富んだ新しい学校です。

校訓

真理を尊ぶ人であれ

価値を生み出す人であれ

他者を支える人であれ



校章

はばたく鳥（伊東市の鳥イソヒヨドリ）をモチーフとし、高校の「高」の漢字と組み合わせました。また、羽ばたく鳥は未来を開き、将来に向け飛躍する生徒像をイメージし、3つの翼は再編整備される3校（旧伊東高校、旧城ヶ崎分校、旧伊東商業高校）を表し、お互いに協力し合い、新たな歴史を築いていくことを表現しました。



本校の教育活動で育てていく資質・能力

～真理を尊び、価値を生み出し、他者を支える人であるために～

東豆地区の高校教育の拠点として、個に応じた新しい時代の学びに対応した教育活動を展開することで、未来を創造する人材の育成を目指します。そのために、下に示す8つの力を伸ばします。





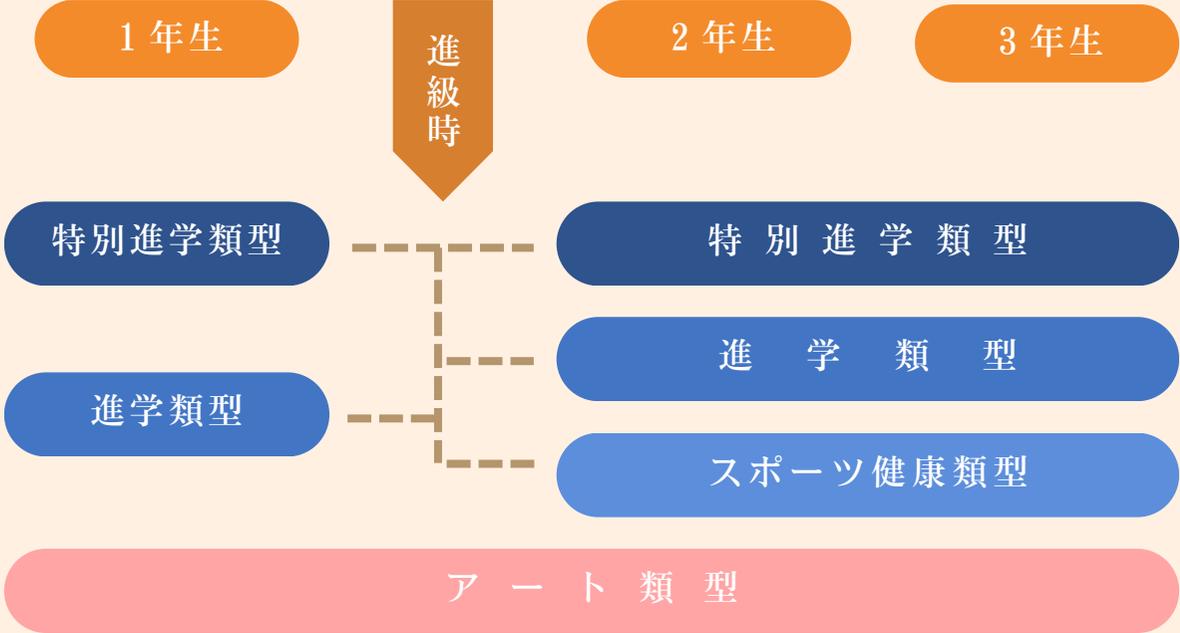
多様な類型

●伊豆伊東高校の生徒が令和6年度に制作した美術作品のご紹介

伊豆伊東高校では生徒の興味に応じて学習類型を選択することが可能です。

普通科

ビジネスマネジメント科

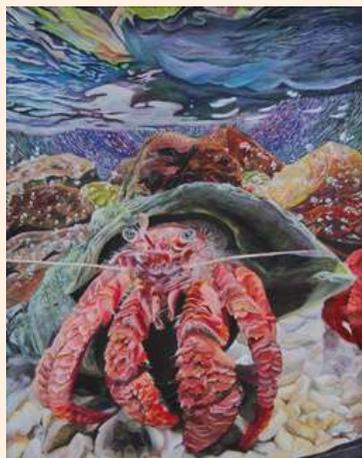


- ・入学者選抜（高校入試）の際に、受検する学科を選びます。もう1つの学科を第2志望とすることもできます（共通枠のみ）。
- ・合格後に学科を変更することはできません。
- ・普通科合格者には合格発表後に「特別進学類型」「進学類型」「アート類型」の希望を取ります。
- ・本人の希望と中学校の成績や入学者選抜の結果をもとに、類型を決定します。
- ・「アート類型」は、3年間、途中から他の類型に変えたり、他の類型から移ってくることはできません。
- ・「スポーツ健康類型」は、2年に進級する前に普通科（「アート類型」を除く）の生徒に希望を取ります。

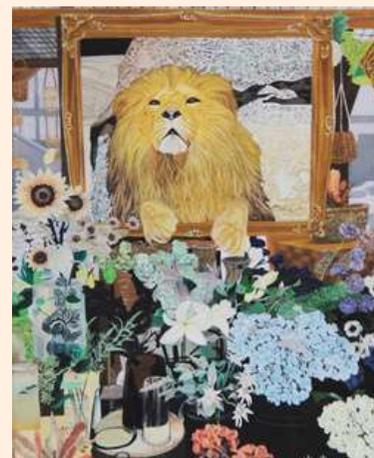
1年次は全員共通の科目を履修します。



- ・ビジネスマネジメント科は、2年に進級する前に「会計類型」「情報類型」「マーケティング類型」の希望を取ります。
- ・類型は3年生まで継続します。途中での変更はできません。



『家』2年 齋藤 銀時



『前途洋々』3年 中村 優花



『玉響』3年 井原 千鶴



『espresso』3年 村田 ひなた



『夏の憂い』2年 西ヶ谷 幸



『蠱毒征路』3年 中村 歩莉

普通科（特別進学類型・進学類型）

特別進学類型

国公立大学、難関私立大学合格を目指します。他の類型より週2時間授業を増やして、実力を養成します。机に向かうだけでなく、類型ならではの企画を実施します。



進学類型

大学や専門学校、就職など多様な進路希望に対応できるよう、選択科目や演習科目が充実しており、教員や看護師、公務員を目指す生徒向けのプロジェクトもあります。



特別進学類型のキャリアアップ研修

令和7年度で第3回を迎える「キャリアアップ研修」は、様々な企画を通して生徒が体験的に地域について学び、講師の方々のキャリアに目を向け、多様な生き方や選択肢があることを感じながら、生徒の学習意識や進路意識の涵養を図る研修です。

稲取地区で幅広い活躍をされている企業をはじめ、クリエイティブな活躍をされている地域おこし協力隊の方々、地域住民の方を講師として招いて、2日間に渡り宿泊研修を行います。

自分自身のキャリア（生き方）の考えをアップデートし、新たな価値観を持ち、学校で何をすべきなのかを体験的に学習するための研修です。



特別進学類型「対面式」



大学訪問・予備校訪問

大学を実際に訪れ、大学の模擬講義や大学生による学生生活の話、学食の体験などを通して、大学進学をより身近に感じてもらう企画です。見学実績は以下の通りです。

- ・令和5年度 横浜国立大学、代ゼミタワー
- ・令和6年度 静岡大学（静岡キャンパス）



キャリア教育プロジェクト

東伊豆地区の地域課題や、本校で特に多い希望進路を中心にプロジェクトを立ち上げ、職業研究から進路実現に向けて活動しています。希望制で年度の初めに参加者を募集します。

<各種プロジェクトのご紹介>

- ・教育プロジェクト 地域の学習ボランティア参加など
- ・医療看護プロジェクト 病院、大学、専門学校との連携学習など
- ・保育福祉プロジェクト 市内幼稚園、大学等と連携した講話など
- ・研究開発プロジェクト 主に理系分野の研究 科学教室の開催など



進学類型で「将来を幅広く」「自由で幅広い選択科目」

進学類型では「特別な行事」があるわけではありません。それは普段の学校生活で取り組んでいる授業、部活動、生徒会活動、探究活動などを丁寧に取り組むことで、進路実現に繋がると考えているからです。面談などを通して、3年間サポートしていきます。高校卒業後の進路で迷っている生徒も多いかと思いますが、進学類型は将来が決まっていなからこそ「自由で幅広い選択科目」が用意されています。大学への進学・専門学校での学び・卒業後すぐに民間企業や公務員としての就職など、まだまだ迷いがある人にぴったりな類型です。



充実した環境で決める進路。手厚いサポートで行きたい道へ。難関大学多数合格！

※具体的な進路先は「令和6年度 合格先一覧」のページをご覧ください。

普通科（アート類型・スポーツ健康類型）

アート類型

創造力と表現力を育むプログラムで、美術、デザイン、工芸、映像などを学びます。経験豊富な教員が技術面、発想力、批判的思考を伸ばす指導を行い、個性を大切に学習環境を提供します。



特色ある授業①「素描（デッサン）」

アート類型では美術系大学や専門学校など、美術・デザイン分野への進学を目指す生徒に専門的な学びを提供しています。生徒一人ひとりの表現の可能性を大切に、個性を伸ばしながら、将来につながる専門性を育てます。生徒は1年次から3年次にかけて素描（デッサン）を継続的に取り組みます。美術の基礎であるデッサンは、観察力・空間把握力・着実な描写力を養い、日々の積み重ねにより画力と表現の幅を広げていきます。



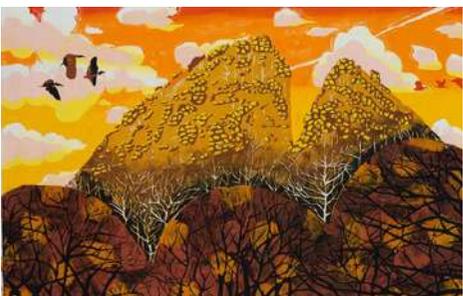
特色ある授業②「デジタルアート」

デジタルデザインや映像表現の授業では、パソコンやタブレットなどのデジタルツールを活用し、ビジュアルデザイン、映像編集など、現代の多様な表現技法に対応した制作を行います。これにより、アナログとデジタルの両面から幅広い表現力を養うことができます。作品制作の過程では自らのアイデアを形にする力、作品を通じて人に伝える力も育まれます。学んだ技術を実際に活用しながら自信と達成感を得ることができ、創造力を育みながら、多様な作品制作に挑戦することができます。



全国高等学校版画選手権大会「はなが甲子園」第25回大会 優勝（文部科学大臣賞）

アート類型3年生の3名が「はなが甲子園」で優勝を果たしました。この大会はとてもハードなもので、佐渡で3日間かけて取材をし、その3日の中で版画を制作する大会です。版画の大変さは根気が必要なところ。作品自体が大きく、木の板でそれぞれが担当する場所を決め、彫っていきます。8時間くらいかけてひたすら彫り、5枚の板を完成させます。これで終わりではなく、その後絵具をつけ、絶対にずれないように細心の注意を払って重ねて刷ります。これを何度も繰り返し、できあがった5枚の中で1番よいものを大会に出します。令和6年度から審査員特別賞が新設されましたが、その賞も受賞しました。城ヶ崎高校時代から数えて19回目の出場となり、その努力が認められ、受賞に至りました。



スポーツ健康類型

競技者としてだけでなく、スポーツや健康を学問として学び、地域の人々の健康と生きがいに貢献する人材を育成します。スポーツや健康により特化した授業を展開しています。



スポーツ健康類型「キャンプ実習」

スポーツ健康類型では全員で「キャンプ実習」を行います。生徒は1泊2日で国立中央青少年交流の家に行き、その自然環境や共同生活を通じて人間関係や自然を愛する心を育て、スポーツの振興発展に目を向けます。初日はビーチコートプログラムやディスクゴルフ、野外炊事（BBQ）等を行います。そして翌日は富士山トレッキングです。令和6年度は雨の降る寒い中でしたが、スポーツ健康類型らしく元気いっぱい富士山を登りました。このような貴重な経験を通して、生徒たちはスポーツを担う人材として成長していく様子が見られました。



まくら投げ大会&たらいのり競争

伊東市には独特なスポーツがあるのをご存じですか？皆さんも修学旅行などでまくら投げを行ったことがあるかもしれませんが、これをスポーツとして発展させたのは旧伊東高校城ヶ崎分校の生徒です。毎年冬になるとまくら投げ大会が行われ、これにサポート&選手としてスポーツ健康類型の生徒が出ました。また夏には温泉街に流れる松川で行われるたらいのり競争にも出場しています。地元のスポーツの振興に貢献するのも地元の高校としての大切な役割です。テレビからの取材もあり、伊東市を盛り上げるのに一役買っています。



スポーツ健康類型考案競技「アラジン」

3年生の「スポーツ総合演習」の授業では、新スポーツの考案をしています。今年度の碧春祭（あおはるさい）では、この授業で考案された「アラジン」という競技を実際に行いました。まるで魔法の絨毯のように見えるブルーシートに風船を乗せ、4人でコース上を選びゴールを目指します。絶妙なバランス感覚が必要なだけでなく、風向きなども考えながら運ぶためチームの連携が大切な競技です。競技に臨んだ生徒たちからは笑顔が溢れ、一致団結する姿はまさに「スポーツ」でした。このように、授業で考えたものを学校全体で行うことができることも、スポーツ健康類型の特徴です。

「スポーツⅡ」ゴルフの授業

スポーツ健康類型の2、3年生を対象に行われている「スポーツⅡ」の授業では、スクールゴルフプロジェクトから伊東商業高校の卒業生であるプロゴルファーが講師として来校し、指導をしてくださっています。学校の近隣にあるゴルフ場で練習を行い、実際にラウンドを回りながらゴルフを学んでいます。マナーやルールを学ぶことによってスポーツの楽しさへの理解を深めています。中には熱中し、実際にゴルフクラブを購入して保護者と休日にゴルフを楽しむ生徒もいます。



ビジネスマネジメント科

商業の学びは魅力で溢れています。課題研究等での探究活動への取り組み、取得した資格、身につけたプレゼンテーションスキルなど、自らの強みをつくることができます。3年間で得た強みは、将来的に社会で活躍するための力になります。

会計類型

簿記・会計分野の学習を中心に、企業会計に関する知識や技術を身に付け、企業経理を支えることのできる人物を育成します。

情報類型

システム開発、ネットワークやプログラミングに関する知識や技術を身に付け、将来活躍できる人物を育成します。

マーケティング類型

マーケティングや広告・販売促進に関する知識や技術を身に付け、企業経営や販売業で活躍できる人物を育成します。



会社の模擬取引を行う「総合実践」

「総合実践」は商業の「まとめ」のような科目で、1年生のときに学習した「簿記」や「情報処理」、「ビジネス基礎」といった科目の知識を応用して「会社の模擬取引」を行います。生徒は2人で1つの会社を経営し、電話応対や売買交渉、仕入・売上、小切手の作成、お金の支払、文書の郵送、帳簿記入など多岐にわたる業務を行います。入室時には靴を揃えて、タイムカードをかざして出勤処理を行います。会社同士の取引では電話応対や名刺交換も行い、社会に出た後「即戦力」となれるような実践的学習を行っています。



商業は「人づくり」

商業（ビジネスマネジメント科）では何をしているのか、どんなことができるのか分からない方も多いのではないでしょうか。

農業や工業は「ものづくり」をしますが、商業ではビジネスマナー教育等をはじめとした「人づくり」の教育が行われています。

一昔前とは異なり「商業＝就職」ではありません。実際に7割以上の生徒が進学し、難関と呼ばれる国公立大学や看護専門学校への進学実績も多様にあります。商業を学んだ生徒はどこでも活躍できる人材となります。製造業に就いてもいいし、農業を営んでもいいし、看護師になってもいいし、大学で学んでもいいのです。あらゆる場所で活躍できるビジネスパーソンを育成する「ビジネスマネジメント科」へ、ぜひ入学してみませんか？

商業ってどんな勉強をしているの？



観光ビジネス

ビジネスマネジメント科では「観光ビジネス」の授業が必修科目として設定されています。これは全国でも珍しいことで、観光地でも有名な「伊豆半島」にある学校として、ただ観光に関する知識を身につけるだけでなく、熱海市ヘフィールドワークへ行き、目で見て肌で感じることで、教科書だけでは見えない深い学びにも力を入れています。

課題研究

3年生から履修する「課題研究」は、自分で課題を見つけ解決していく教科「商業」ならではの授業です。学校の外での活動も多く、顕著な成績も挙げているため、地域から注目されている授業のひとつです。「地域戦略論」の授業では高校生ビジネスプラン・グランプリで2年連続ファイナリスト入り達成しました。



商業から国公立大学へ。

「商業」の強みを生かした進路選択が“売り”です！
令和6年度は静岡大学へ2名合格！

ここ最近の大学受験は、一般選抜だけでなく指定校推薦や公募推薦、総合型選抜など、多岐にわたる受験方法があります。いわゆる「推薦入試」では、高校生活で頑張ったことをアピールすることが最重要です。ビジネスマネジメント科では、他では経験できない独自の授業が多く、探究活動や多種多様な検定試験、ボランティア活動等で多くのアピールポイントを得られます。実際に過去、国公立大学や有名な私立大学に進学した先輩もいます。必要に応じて選択科目で「英語」や「生物」の授業を選択するなど、自分の進路に応じて学習を進めていくことで、4年制大学や短期大学、看護系の専門学校、公務員など幅広い進路に対応することができます。1年生のうちからどれだけ一生懸命頑張るかで、結果が変わります。

令和6年度の実績の一例を挙げます。「進学」では静岡大学へ2名、専修大学へ2名、日本大学、東海大学、神奈川大学、国士舘大学、常葉大学などへ進学しています。また、看護専門学校への進学も多く、静岡県立看護専門学校、静岡医療センター附属静岡看護学校、おだわら看護専門学校などへ進学しています。「就職」では伊東市役所や海上自衛隊（航空学生）などの公務員だけでなく、国立印刷局や日本郵便、伊豆急行、三島信用金庫など多数の民間企業へも就職しています。